

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-42	講座名	削れ難く保水力があり歩き易いウッドチップ散策路を作ろう
記載日		団体名・企業名	水の環グループ
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>人が歩く事により、削れてしまった散策路に、木や竹のチップを敷設する事により、削れにくく、保水力のある、歩き易い散策路にできます。毎年、竹藪が拡大する対策として数千本の竹を伐採しています。又、危険な樹木も伐採しています。伐採した竹や木を積み上げる為、植物が生えないゴミの山が出来てしまっています。これらを粉碎して散策路に敷設すると、ゴミを資源に変え、このような問題を解決する事ができます。</p> <p>講座では、竹を伐採し、その竹を粉碎機で粉碎します。そのウッドチップを散策路に敷設します。その後、チップを敷設した散策路と敷設していない散策路を比較しながら散策します。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2月18日、猪高緑地、竹を粉碎しています。		2月18日、猪高緑地、竹チップを散策路に運び、敷き均している。	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>小学低学年の親子づれが多く参加してくれました。また、高校生が集団で参加してくれました。若い世代に、これらの活動が広がっていくことが期待できると感じました。</p> <p>竹の伐採、竹チップの敷設に、時間ぎりぎりまで、活動してくれました。これらの体験は、他では体験できないので、受講者は大変楽しそうでした。</p> <p>2月の講座は、塚ノ杵池が工事中で、池を一周して、野鳥や御嶽山が見られる散策ができませんでした。受講者に猪高緑地の魅力を十分に実感してもらえなかったのが、残念でした。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<p>里山を維持していくには、人手をかけないと維持できないことがよくわかった。</p> <p>猪高緑地の自然について、いろいろ知る事ができてよかった。</p> <p>竹を切り、竹チップを散策路に敷き均し、そのあと、説明を聞きながら、散策するのは、大変に楽しかった。</p>			